

イマジナ 2000

INA（フランス国立オーディオビジュアル研究所）主催のヨーロッパ最大の規模を誇るコンピュータ・グラフィックスとデジタル映像のイベント「イマジナ」（imagina）は1982年の創設以来、映像分野のプロや研究者を中心に毎年数多くの参加者を集め、最先端CGの成果を紹介してきました。

「イマジナ2000」展の総合テーマは2つあります

- ・3Dとインタラクティブテクノロジー
- ・TVとインターネット：新融合へ

「イマジナ2000」展は下記の2カ所の会場で行われます。

1月31(月)	2月1日(火)	2月2日(水)
モンテカルロ（モナコ公国）		

2月2日(水)	2月3日(木)	2月4日(金)
パリ（パレデコングレ）		

モンテカルロ（モナコ公国）
会期：2000年1月31(月)→2月2日(水)

モナコでの「イマジナ2000」展は3つのプログラムで構成されます。

- 1 - フォーラム
- 2 - CGコンクール "Prix Pixel-INA"
- 3 - 革新村 "Le village de l'innovation"

1 - フォーラム

「イマジナ2000」展で行われるフォーラムではデジタル映像とコンピューターグラフィックに関する様々な分野の最新で卓抜した独創性のある作品及び試作品を紹介します。

フォーラムはこの分野の進歩を見学できる場であると同時にヨーロッパ、アメリカ、アジアから来る方々の交歓の場でもあります。

講演とパネルディスカッション

- ・バーチャルリアリティ(Virtual reality)
- ・3D、アート、クリエイティブWebサイト
- ・人工世界、ビデオゲーム、オンラインゲーム、キャラクターアニメーション
- ・3Dアニメーション、バーチャル人間、映画のスペシャルエフェクト
- ・情報のアクセスの新しい方法（ハイパーメディア）
- ・TVの編成の新コンセプトとニューテクノロジー
- ・映像作品とソフトウェア
- ・革新の経済

ほか

2 - CGコンクール

今年1月に開催されたimagina展のコンペティションには、世界30ヶ国から約520本ものCG作品の応募がありました。

imagina・CGコンクールで選考されたクリエイティビティでオリジナリティに富んだ作品には、imagina・グランプリを始めとする名誉ある賞が与えられ、広く一般に紹介されました。

The logo for 'imagina' features a small globe icon above the word 'imagina' in a lowercase, serif font.

imagina展は技術のみならず、作品としての完成度を追求するコンピューターグラフィックスの祭典です。

毎年500本を上回る応募作品は、まずimagina選考委員会による一次審査で約70作品に絞りこまれ、imagina展初日（1月31日）と2日目（2月1日）の夜、試写会場において一般公開されます。

——>>> 今回の応募は1999年11月8日までです。

imagina-Prix Pixel各賞の授賞式は2000年2月2日の夜に行われます。

2000年度 imagina展"Pixel"賞：

審査員賞

- ・ imagina・グランプリ
- ・ ベスト光り部門賞
- ・ ベスト脚本部門賞
- ・ ベストデジタル俳優部門賞
- ・ 研究部門賞

等

提携団体審査賞

- ・ サウンドトラックCST部門賞、
- ・ INFOGRAMME社の「クレアジナ」部門賞
- ・ SCAM部門賞、
- ・ SCAM新才能部門賞、
- ・ MEDIA（ヨーロッパ最高作品）部門賞
- ・ SACD部門賞、

一般投票による審査賞

- ・ フィクション部門賞、
- ・ アート部門賞、
- ・ クレジットタイトル／テレビ局のチャンネル・ロゴデザイン部門賞
- ・ シミュレーション部門賞、
- ・ ゲーム部門賞、
- ・ 音楽ビデオクリップ部門賞、
- ・ アミューズメントパーク部門賞、
- ・ 広告部門賞、
- ・ 特殊効果部門賞、
- ・ 学生部門賞（学生の作品のみ）
- ・ アニメーションのシリーズ部門賞

新設・3次元立体映像部門賞

新設・インターネットホームページ部門賞

3 - 革新村 - Le village de l'innovation

「イマジナ2000」展祭典の一環として行われるle village de l'innovation（革新村）のための新しい映像システムを探しています。

映像、インタラクティブ、そのほかクリエイティビティな映像のためのシステムで、未発表、または商業ベースに乗っていないもの、独創的で、いままで、誰も考えつかなかったような、そんなシステムがありましたら、是非このle village de l'innovationにご参加ください。

この“革新村”は、ヨーロッパ中のCG、メディアのプロから注目されており、新しく、興味深いシステムについては、ヨーロッパでの開発・製品化への道も開かれています。また、システムはもちろん、開発者自身のプロモーションの場になることも間違いありません。

興味のある方は、システムについての説明（日本語可）と写真を、下記ベルテ・フィリップまでお送りください。また、ご不明な点等がございましたら、どのようなことでも結構ですので、お問い合わせください。

 **imagina**

既に第1回imagina展から講演会及び「ピクセル賞」コンクールと同時に、ハードとソフトの展示も行われています。

1998年まで同展示会はモンテカルロのみの開催でしたが、1999年からはパリでも開催され、多くの国際的な方々が参加されました。

今回もパリでの開催が決定。昨年同様、より多くの方々の参加が予想されます

ハードの紹介だけではありません。

- ・入場者へのソフト、実験への参加、新製品 (imaginaがカバーする範囲で) 紹介があります。
- ・芸術家が新製品に触れることができます。
- ・専門誌及び欧州の業界人は新製品及び開発&i化の担当者を知ることができます。

今回の重要ポイント。

- ・ビデオゲーム
- ・バーチャルスタジオ
- ・モーションキャプチャーシステム
- ・アニメーションクリエイションソフト

その他のみどころ。

- ・ソフトクリエイションの会社が若いアーティストを発掘できるように学校及び大学関係者を招待しています。
- ・情報の国際的配布を助けるための業界プレスの参加。

imagina とヨーロッパ全域のCGに関するニュースシステム

「イマジナ展」の最新情報をはじめ、ヨーロッパ全域のCGに関するニュースを、いち早くみなさまにお知らせするためのEmailシステム「IRIS (イリス)」を開設いたしましたので、お知らせします。

「imagina2000」の準備も現在着々と進んでおり、また、それにともない、ヨーロッパ中からCGに関するニュースも集まっております。

「IRIS」では、これらの幅広い情報を私共で日本語訳し、みなさまにご提供していこうと考えております。

このシステム、および情報のデータベース化は、MMSというパートナーの協力によるものです。

記事についてのお問い合わせ、ご意見等は、どのようなことでもけっこうですので、下記ベルテ・フィリップあてにお寄せください。

連絡先：ベルテ・フィリップ
IMAGINAアジア代表
TMF 専務理事
E-mail: berthet@kt.rim.or.jp

The logo for 'imagina' features a small circular icon with a dot in the center, positioned above the word 'imagina' which is written in a lowercase, serif font.